

自粛警察の出動 心の距離を縮める「新しい生活様式」を

新型コロナウイルス特措法に基づく緊急事態宣言の下で、外出や営業などの自粛に応じない人や店舗に対し、過剰に自粛を求める「自粛警察」と呼ばれる行為がエスカレートし、人権侵害につながるケースが問題となっています。

日本人の美德

県外の車に対するあおり運転や投石、パチンコ店に並ぶ客への罵声や顔写真の撮影、また、公園に子どもを連れて行くだけで警察に通報された方もいます。さらにコロナ陽性反応後に長距離移動をした女性について、ネット上に氏名や写真、勤務先などの個人情報さらす行為があり、これは名誉棄損罪になる可能性もあります。

集団での規律や調和を大切にする気質は日本人の美德とされますが、自分の中の「正しさ」が暴走した時、その「正しさ」は美德ではなく、人権侵害や犯罪につながることを私たちは認識しなければなりません。

一方的な情報を過信しないこと、自分の言動が誰かを傷付けていないか立ち止まる事も大切です。

新しい生活様式

今後とも私たち一人ひとりが、それぞれの立場で感染拡大防止に努めることは重要です。しかし、それが過剰に自粛を求め、相互監視や相互不信に陥ってしまえば、自粛警察の出動に繋がります。

政府の示した「新しい生活様式」では、人との間隔は距離を保つことが求められています。

お互いを大切にするための間隔であることに気づき、今こそ心と心の距離を縮める良い機会にしたいものです。